

# ドリームアイランドカレッジフィールド



い、

あ、  
あ、



「 」、

。



あ、

。

、

あ

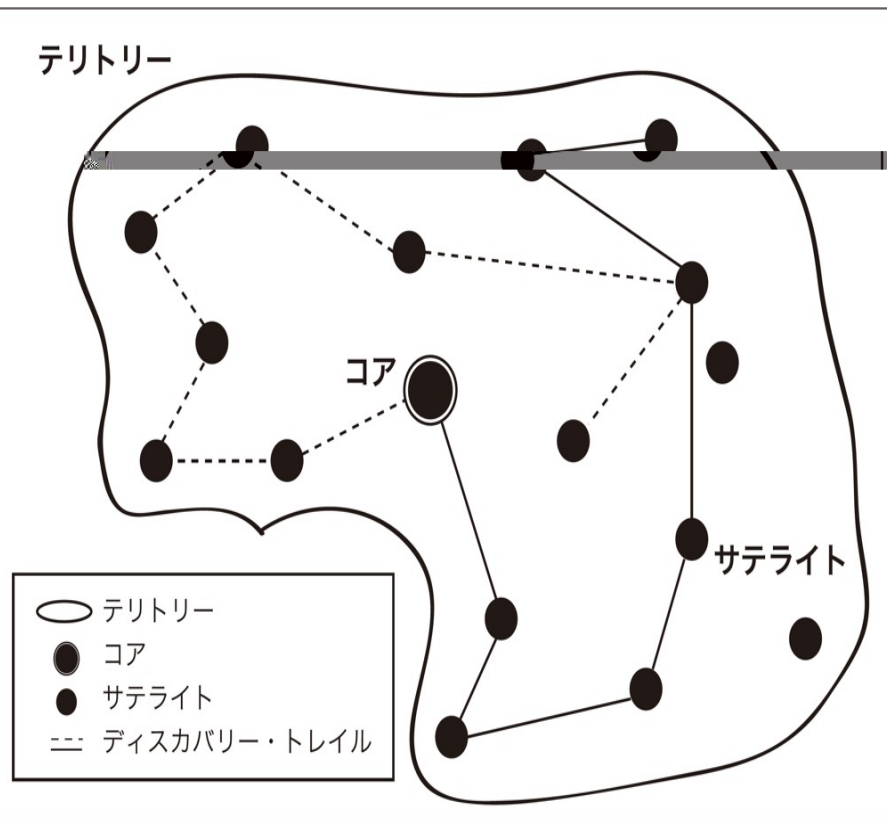
。

# 持続可能な音戸づくりモデル



# 音戸「島まるごと博物館」

## (エコミュージアム)



● 地域全体を屋根のない博物館として捉える

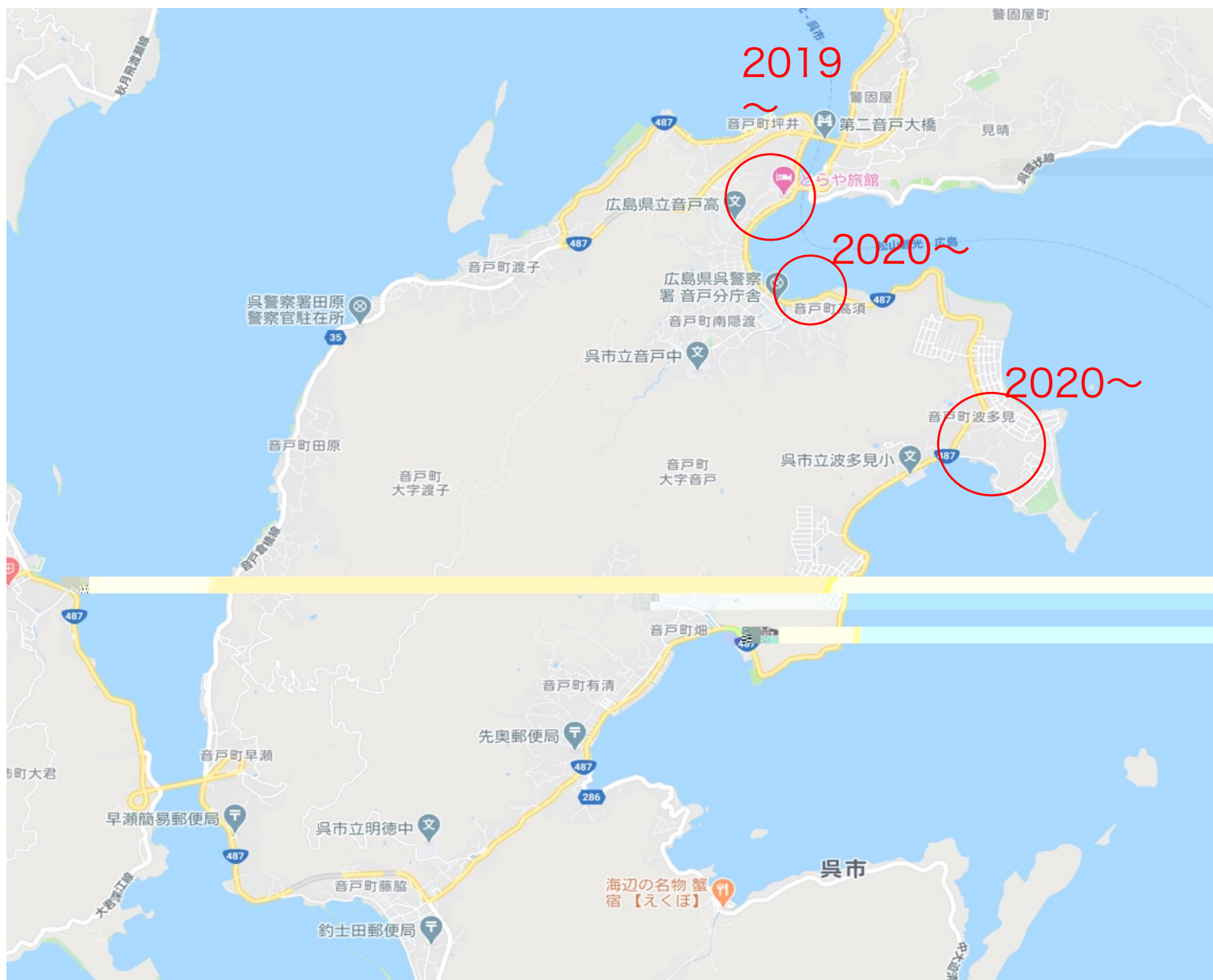
● 訪問者（観光者）がコアで情報を得て、サテライトを回る

（ディスカバリー・トレイル）

● 地域の新しい魅力を発見でき、かつ長時間滞在が可能になる

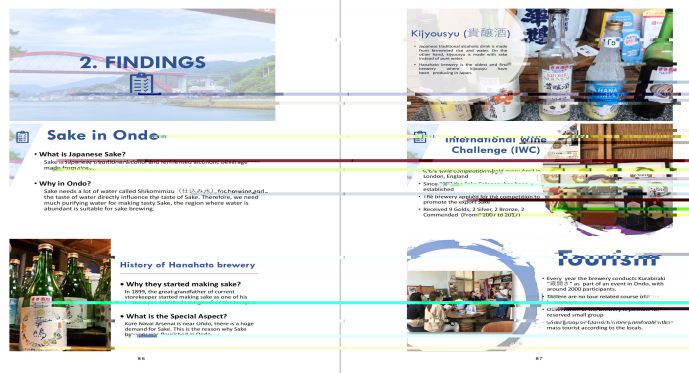
エコミュージアムの概念  
(村上、2017より)

# 音戸「島まるごと博物館」



# 2019・2020年度の活動

- コンセプト整備：「音戸ドリームカレッジフィールド」  
「島まるごと博物館」
- 現地調査・打ち合わせ：8回
- 音戸トレイル案提示：音戸の瀬戸周辺（引地、鰯浜、北隠渡、南隠渡）、高須、波多見
- モニタツアー：2回（2021年2月13日～14日）
- 現地発表会：2回



# 報告書の発刊（2019、2020）

2019 年度

広島大学「地域の元気応援プロジェクト」

音戸ドリームアイランドカレッジフィールド  
報告書

広島大学総合科学部国際共創学科  
NPO 法人アースキューブジャパン  
島まるごとユニバーシティ協議会

2020 年度広島大学「地域の元気応援プロジェクト」

音戸ドリームアイランド  
カレッジフィールド報告書

広島大学総合科学部国際共創学科  
NPO 法人アースキューブジャパン  
島まるごとユニバーシティ協議会

# 地域の元 プロジェクトに参加して よかったところ

- 大学と地域の長期の関わりのための入り口
- 教育効果：国際共創学科の専門科目授業の一環としてフィールド調査を行う（2020）。地域の方々（法専寺・榎酒造・島本さん）のご協力を頂いた高い教育効果が得られた。
- 研究成果：エコミュージアム概念の有効性を明らかにする。コロナ時代のマイクロツーリズムとしても機能できる。

# 今後の展

× JTB

×

え

。

、



。

、

6

~9



。



。

。

い

、

5

え

。